

ドメイン名動向ハイライト：2023年7月

投稿日 2023年8月10日

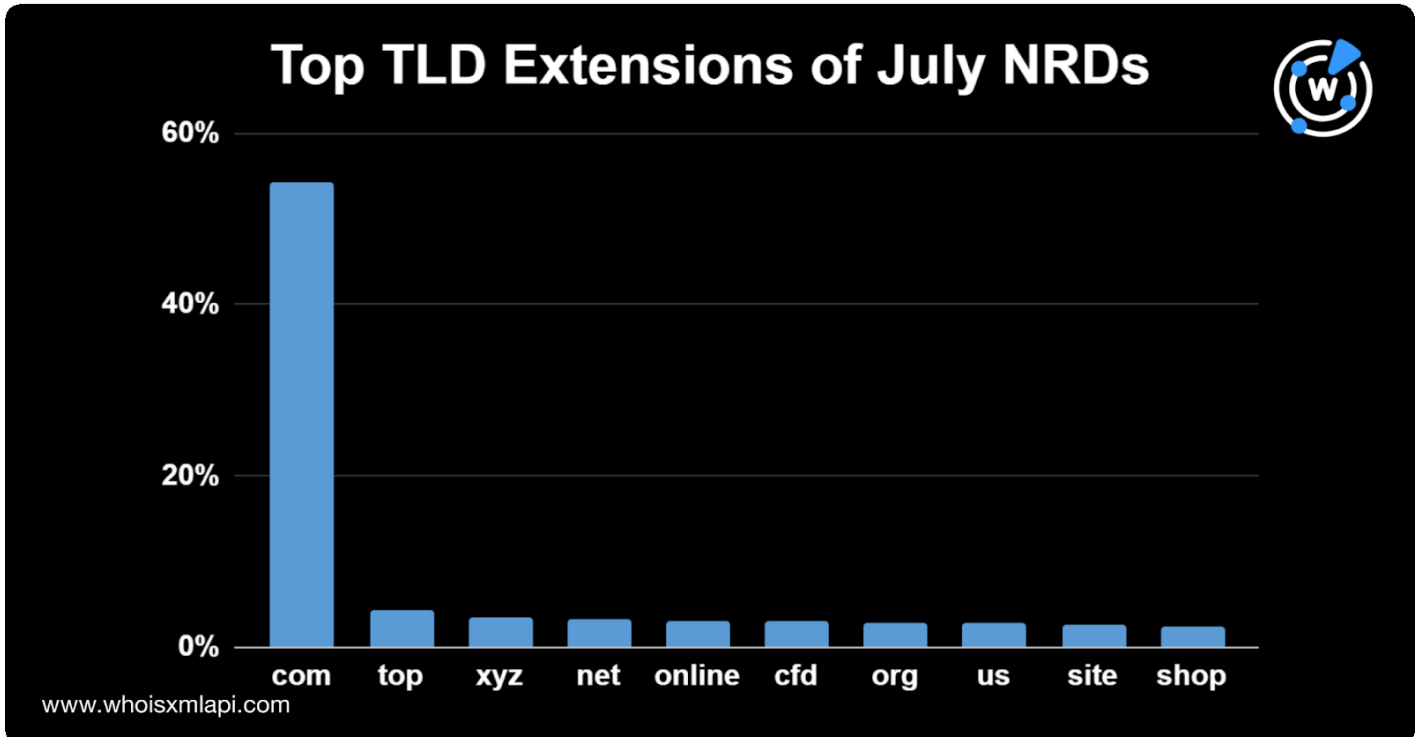
WhoisXML APIの研究者がこのたび、2023年7月1日から31日の間に登録された数百万のドメイン名から無作為に31,000個を抽出し、WHOISデータ、登録者の国、レジストラ、TLDの共通点を調べました。

また、ドメイン名の文字列の使用状況を調査し、潜在的な新傾向を明らかにしました。本調査の結果と、DNS、IPアドレスおよびドメイン名のインテリジェンスを用いてWhoisXML APIが作成した脅威レポートへのリンクを以下に示します。

7月の新規登録ドメイン名（NRD）をクローズアップ

TLDの分布

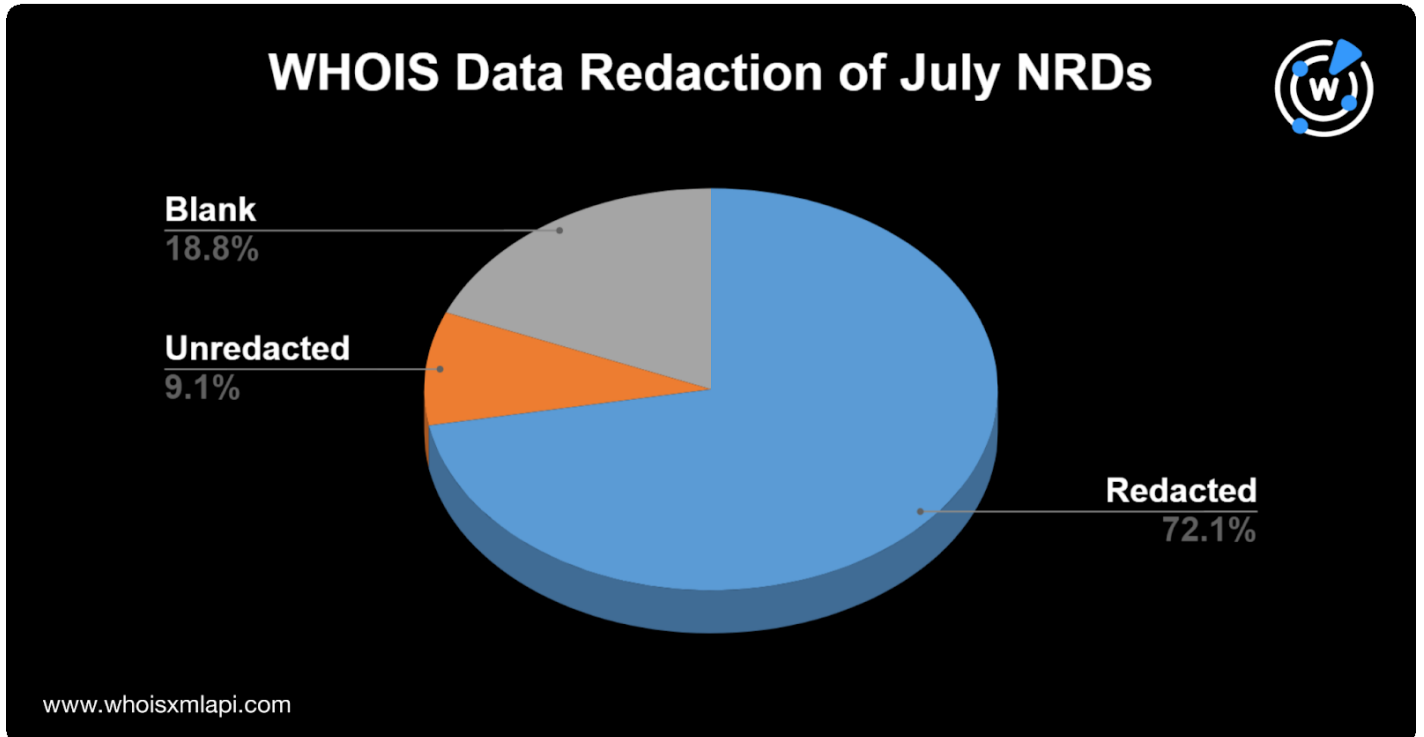
.infoが.usに取って代わられましたが、それを除けば6月のトップ10 TLDのほとんどが7月も引き続き上位にランクインしました。.comは依然として最も多く利用されており、ドメイン名登録数全体の54%を占めました。下図の通り、.comに次いで.top（4%）、.xyz（3%）、.net（3%）、.online（3%）、.cfd（3%）、.org（3%）、.us（3%）、.site（3%）、.shop（2%）がトップ10に入りました。



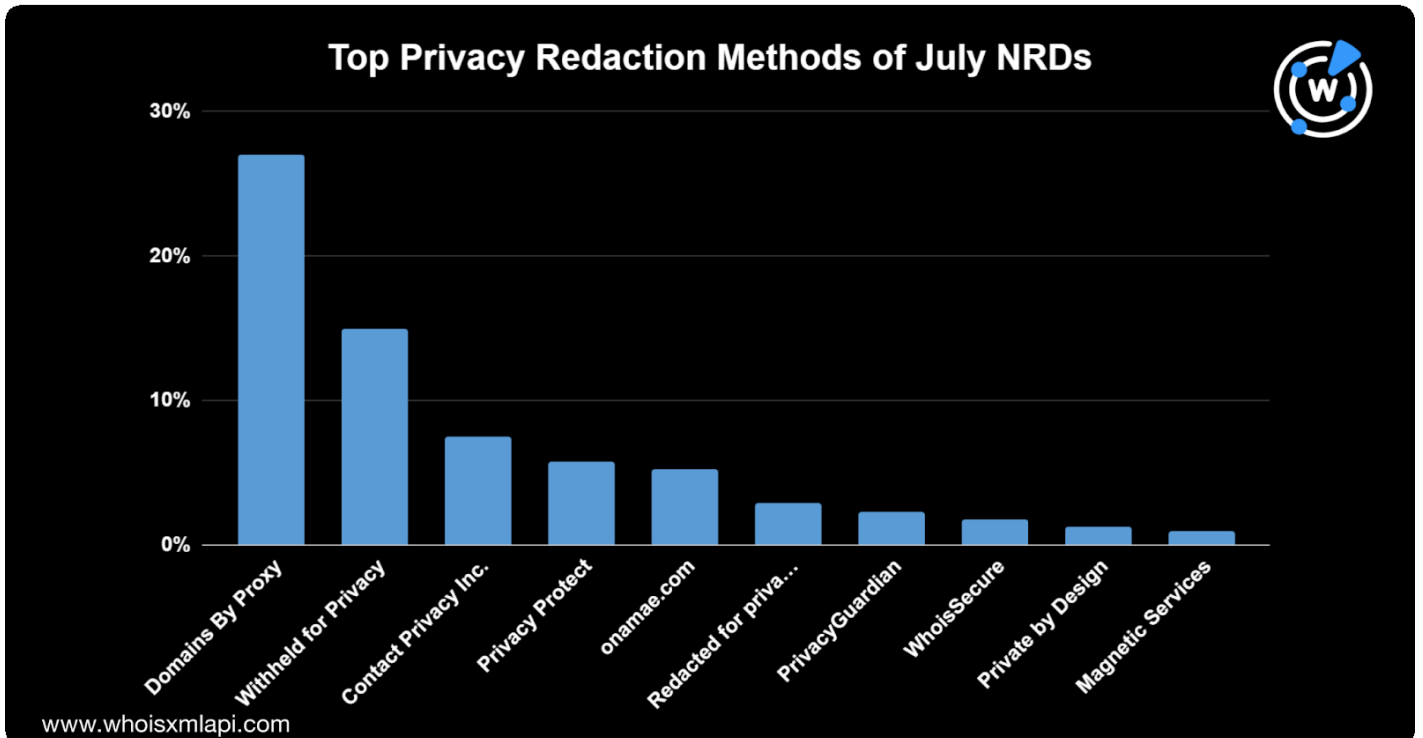
NRDの82%は上位10 TLDのドメイン名でした。残りの18%は、620を超えるTLDに分散しています。

WHOISデータの非公開化

NRDの大半については、そのWHOISレコードが非公開化されていました。登録者の組織名が公開されていたのはわずか9%で、約19%はこのフィールドが空白でした。



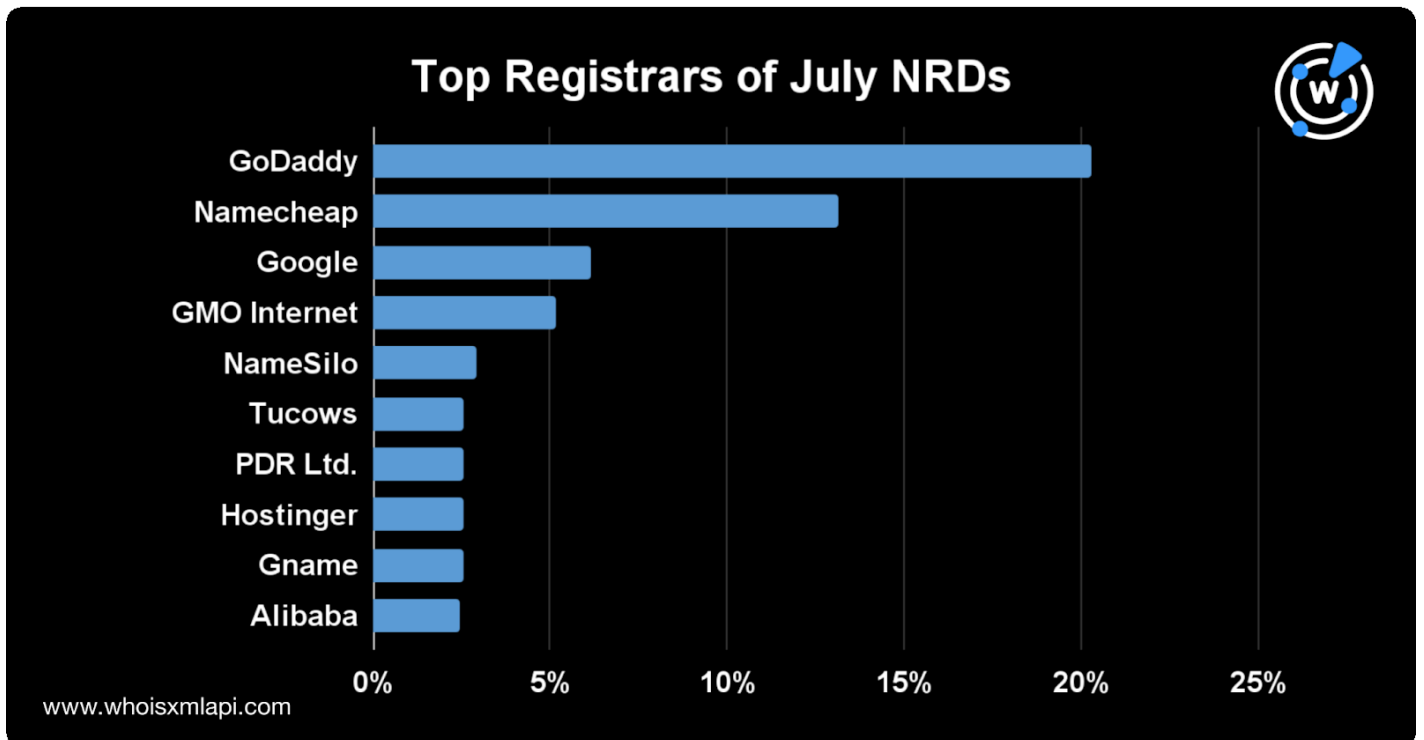
最も人気のあったプライバシーサービスプロバイダーは引き続きDomains By Proxyで、NRDの27%が使っていました。次いで多かったのはWithheld for Privacy（15%）、Contact Privacy（7%）、Privacy Protect, LLC（6%）、お名前（5%）、PrivacyGuardian.org（2%）、WhoisSecure（2%）、Private by Design（1%）、Magnetic Services（1%）でした。



複数のNRDでは、その登録者組織名欄に**Private Person**、**Redacted for privacy**、**Data Redacted**、**GDPR Masked**などのラベルが含まれていました。

レジストラの分布

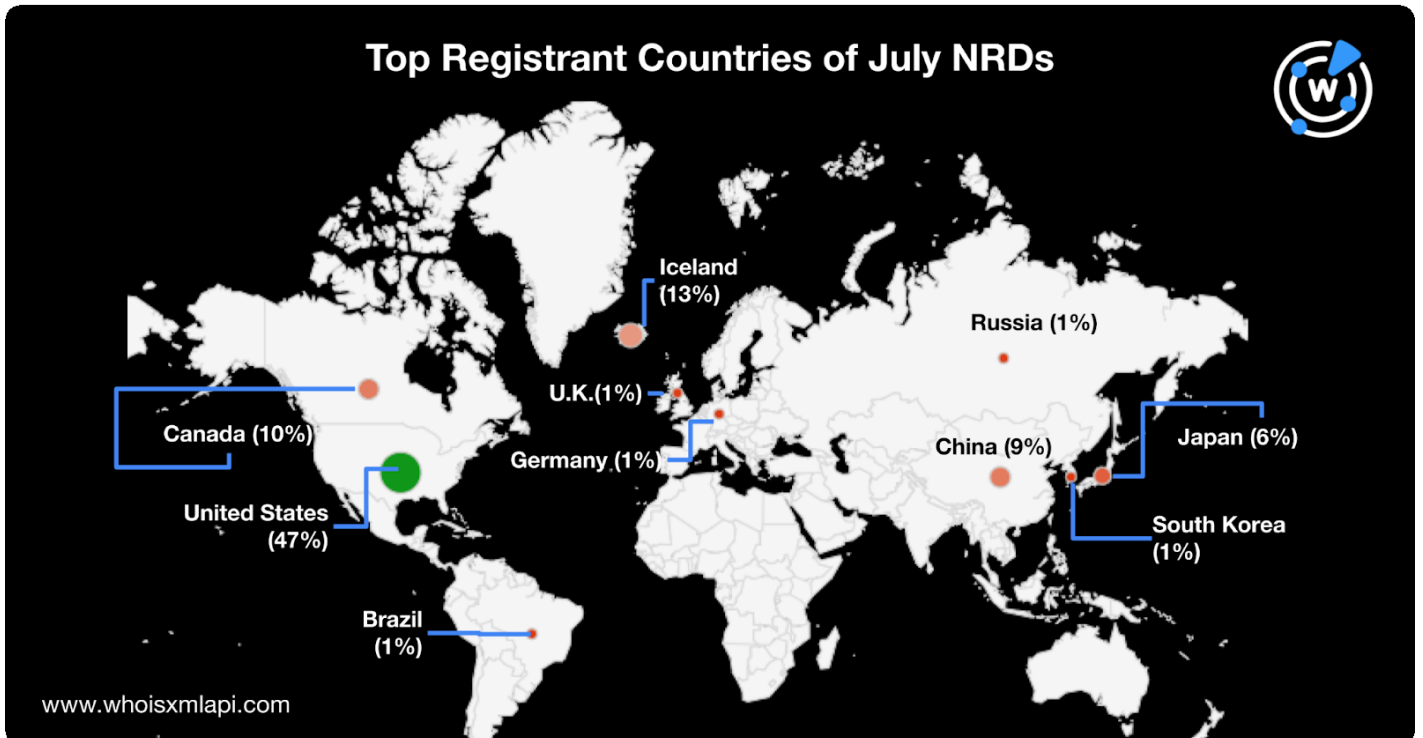
7月のNRD上位レジストラは6月と変わらず、GoDaddyが登録数の20%を占めて最多となりました。次いで多かったのは、Namecheap (13%)、Google (6%)、GMOインターネット (5%)、NameSilo (3%)、Tucows (3%)、PDR Ltd. (3%)、Hostinger (3%)、Gname (3%)、Alibaba (2%) でした。



トップ10のレジストラがドメイン名登録総数の60%を占めました。残りのドメイン名は、他の430を超えるレジストラに分散していました。

登録数上位の国

NRDの47%は米国で登録されたものでした。6月と同様、アイスランド（13%）とカナダ（10%）が米国に続きました。登録数が多い国トップ10の残りは、中国（9%）、日本（6%）、英国（1%）、ロシア（1%）、韓国（1%）、ブラジル（1%）、ドイツ（1%）となりました。



登録者数上位10カ国が総登録数の89%を占めました。残りのドメイン名は130を超える国に分散していました。

第2レベルドメイン（SLD）に共通して見られる文字列

NRDの文字列として最も多く見られた単語は、インターネットやテクノロジーに関連するものでした。例えば、**app**、**digital-marketing**、**e-commerce**、**services**、**security-jobs**、**shops**などです。

betという単語も他の文字列と一緒に繰り返し登場しました。また、**xn**も引き続き多く見られました。国際化ドメイン名（IDN）が継続的に使用されていることがうかがえます。

当社の過去の脅威レポートは[こちら](#)でご覧になれます。

今回のドメイン登録の分析やユースケースの支援で使用了当社の商品につきましては、[こちら](#)までお気軽にお問い合わせください。